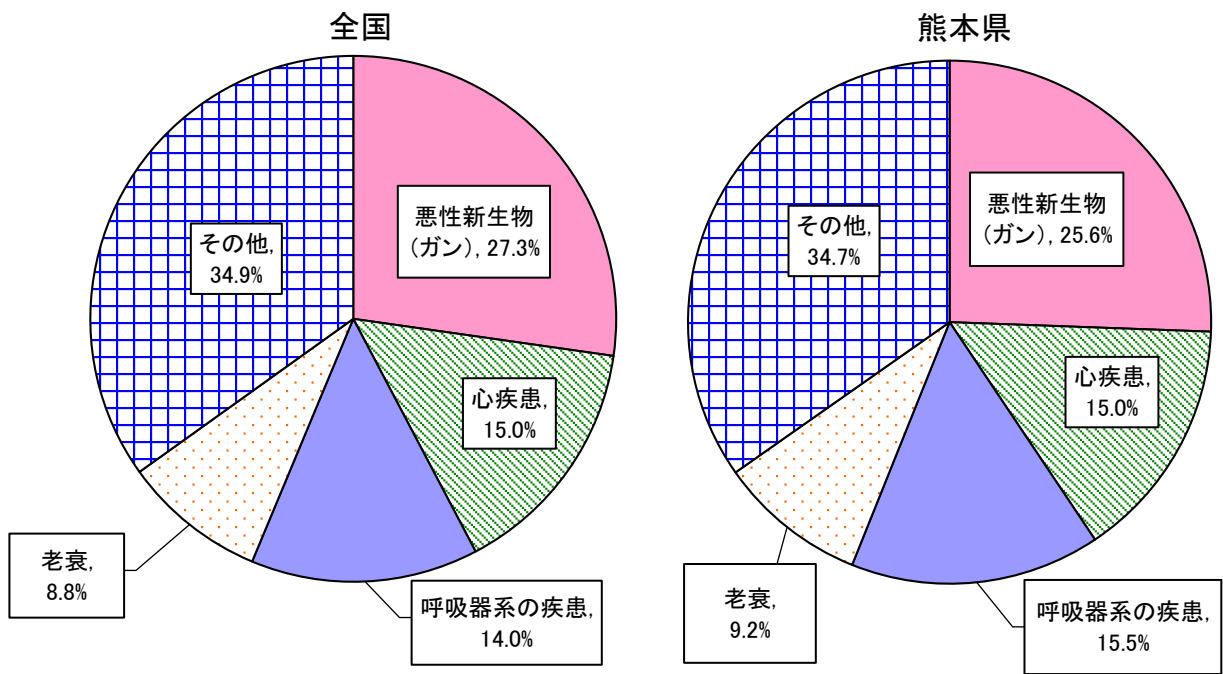


死因別死亡者数構成比（令和元年）



解 説

【概要】

令和元年の県内死亡者は21,670人であった。死因別に内訳をみると、もっとも多いのが悪性新生物（ガン）の5,543人、次いで呼吸器系の疾患の3,350人、心疾患の3,259人、老衰の1,990人と続いており、以上4つの死因で全体の65.3%を占めた。

- 死亡者数
1月から12月の1年間に届けられた死亡者数。
- 呼吸器系の疾患
インフルエンザ、肺炎、急性気管支炎、喘息などが含まれる。
- 心疾患
心不全、急性心筋梗塞、高血圧性心疾患などをいうが、ここでは高血圧性心疾患は含めていない。

| 資 料 出 所 | 調 査 期 日 | 調査周期 |
|----------------|---------|------|
| 「人口動態調査」 厚生労働省 | 令和元年 | 毎年 |